



たまだれ
No.58

玉垂

Tamadale



特別寄稿文

(株)フジドリームエアラインズ
北九州空港支店 支店長

三井夕加 / ～ご縁は宝もの～

特集

春に祈る 節分祭の斎行

興静会 “令和「書」奉納大会”表彰式の開催 / 活動のご報告

画業50年マークエステル展の開催

～唯一無二の色彩の世界と日本神話「古事記」の世界観の共演～

令和2年4月18日,19日 / 例祭、古式十二段舞楽奉奏のご案内

遠江国一宮

小國神社の由来

創

始は神代と伝えられ、延宝八年（一六八〇）の社記によると、人皇二十九代欽明天皇の御代十年（五五五）二月十八日に本宮山峯（本宮山）に御神霊が顕れた後、勅使が遣わされ、山麓約六キロの現在地に社殿を造営し、正一位の神階を授けられました。

それ以来、年々御神前に幣帛を捧げられ文武天皇大宝元年（七〇一）春十八日に勅使奉幣の際、特に十二段舞楽を奉奏されました。延喜七年（九〇七）延喜式内社に列せられ、中世には徳川家康をはじめとする武将など、朝野の崇敬が極めて篤く近世に至っております。

元亀三年（一五七二）の戦では、家康公は御神霊を別所に遷し、願文と三条小鍛冶宗近作の太刀を奉り戦勝を祈願した後、社殿を全て焼失しました。

天正三年（一五七五）に勝利を得た家康公は、御本殿の造営、拜殿・楼門を再建され、更に社領五九〇石の朱印を奉り、以降世々の徳川將軍家より、社殿の改造・修復料を寄進されました。

明治六年六月十三日に国幣小社に列せられ、明治十五年三月に再度の火災により御本殿以下建造物など消失しましたが、明治十九年に復興され現在に至っております。平成十七年には御鎮座一四五〇年祭が斎行され、『遠江国の一宮さま』として崇敬され広く親しまれております。

また、平成十五年九月十四日には、秋篠宮文仁親王殿下同妃紀子殿下のご親拝を賜り、平成十八年十一月八日には、神宮祭主池田厚子様のご参拝、平成二十九年四月二十九日には、高円宮妃久子殿下のご親拝を賜りました。



小國神社のはじまりから
現代までの壮大な物語

小國神社ものがたり
ご祭神とともに

公式ウェブサイト特設ページで
スペシャルムービー公開中

小國神社ものがたり

日本の神様の物語は
『日本の良き国柄』、『伝統』、『文化』を
今に伝えています。

この物語は、静岡市在住の絵本・造形作家のたたらなおきさんよりご奉納いただいた全長約七メートルの絵物語をもとに作成をしたアニメーションです。神代より語り継がれてきたお話には、

日本人の「豊かで優しい和の心」の原点が描かれています。神々の営みの中から「正しい道筋をたてて生きてゆくことの大切さ」や、「思いやりのこころ」を学びましょう。



第二鳥居前の枝垂れ桜

がんばろう日本

先ずもって、わが国を含め世界各地で中国武漢市発の新型コロナウイルスに感染された皆様又、お亡くなりになられた方々に哀悼の意を捧げ、心よりお見舞いを申し上げます。本年は、年明けより暖かな日が続き、桜前線が記録的な速さで進むとの予想もなされています。古来より、我が国では春の花が散る頃、疫病を鎮めるために鎮花祭が執り行われてきました。貞治三年（一三六四年）に成立した新拾遺和歌集に、当時の摂政や関白を務めた二条良基がこのような歌を詠まれています。

『のどかなる 春のまつりの花しずめ 風をさまれと 猶祈るらし』
（意訳…のどかな春日に、花鎮めの祭りが行われている。春風に乗ってきた疫病よ、どうか鎮まれと祈りを捧げているのだろう。）

先人たちはご神前に頭を垂れ、忘れがちな日常の平安への「感謝」と日々の「安寧」を祈りながら暮らしてきました。

この度、当社におきましては、新型コロナウイルス感染症の影響を鑑み、一日も早く事態が鎮静化するよう、毎朝の日供祭に併せ感染症流行鎮静祈願の祝詞を奏上しております。しかしながら、WHOは三月十一日に世界的大流行を表明するに至り、三月十八日には『新型コロナウイルス感染症流行鎮静祈願祭』を執行いたしました。また、社頭におきまして、消毒液の設置、殿内・待合室の換気、職員へのマスク着用を奨励し、社務を執り行っております。私たちは、正しい情報を把握し不自由、不便を乗り越え、冷静に対応することで、一丸となって鎮静化に努めて参らねばなりません。

さて、本年は日本初の正史『日本書紀』上撰され一三〇〇年の佳節になります。本書は、天智天皇二年（六六三）に日本が百済救済のために戦った白村江の戦いで唐・新羅（大陸）の連合軍に破れたことを一つの契機として積極的に大陸の制度を導入、政治の刷新を進めつつ、敗戦を教訓に国防に力を入れ、独立国としての気概を保ちながら、自国の歴史を振り返り、天皇を国の中心に戴き発展してきた日本国家の「歴史」と「理想」を内外に示すものとして編纂されました。

一方、現在の日本を取り巻く国際情勢も厳しさを増しています。極端な保護主義や世界の平和を希求する時代に逆行した覇権主義が乱立しています。極端な保護主義や世界の平和を希求する時代に逆行した覇権主義が乱立しています。

非常事態は、天災にしろ、人災にしろ突然やって来ます。不満や批判だけでは解決しません、国民が協力して克服するしかありません。場合によっては、私権が制約されることも覚悟せねばなりません。さらに、非常事態への法的整備も早急に進めるよう願ってやみません。

いよいよ四月はご例祭を迎えます。職員一同、神慮を畏み、国の安寧と世界の平和を祈り、社務に精進致したく存じます。各位のご壮健をお祈り申し上げます。

令和二年三月十九日



春に祈る 節分祭の斎行

伝統行事に織り込められた、古人のこころ

大勢のご参拝の皆さままで賑わう二月三日(月)に節分祭を斎行いたしました。

新春に相応しい色鮮やかな装束に身を包んだ八〇余名の年男役、年女役の皆さまがご奉仕いたしました。当日は、NHK静岡放送、静岡新聞社、中日新聞社などのメディアも訪れ取材がおこなわれました。

今年の特別奉仕者は、元宝塚歌劇団宙組スター天玲美音様と、袋井市ご出身で現在NHK全国放送などの歌番組でも活躍中の歌手松原健之様にご奉仕をいただきました。お二人が舞殿に登場すると大きな歓声と拍手が境内を包みました。

『節分祭』を始めとする伝統行事には、私たち祖先の感性や暮らしの知恵が込められ、日本の四季折々の自然や風土に調和するかたちで各地に伝わっています。

『節分』とは

節分は、立春、立夏、立秋、立冬の前日を指し、本来は年四回あります。現在では特に、立春の前日を指す場合が多くなりました。これは、旧暦を使用していた時代には節分が年初めの前日、つまり大晦日とされ、冬から春に移る時節であることから、特別な意味を持つようになりました。

節分の行事は、本来宮中で季節の変わり目に行なわれた年中行事で、これに大陸から伝わった(追儺・鬼遣らい)の神事が加わり、平安時代から行なわれてきました。時代が下ると次第に民間に伝わり現在に至ります。節分当日の夕暮れ、ヒイラギやイワシの頭を家の入り口などに挿しておいたり、豆撒きをするようになりました。

このようにしておく、鬼(流行病や災難をもたらす邪鬼)がヒイラギの葉のトゲに刺さり、イワシの悪臭に驚き逃げていくと考えられています。

これは、季節の変わり目には邪気(鬼)が生じると考えられており、それらが家に侵入しないように追い払うためです。

また、豆を撒く際のかけ声は通常「鬼は外、福は内」ですが地域や神社によって様々です。鬼を祭神または神の使いとしている神社などは「鬼は外」ではなく「鬼は内」としているところもあります。



▲豆撒き神事



▲福を呼び込む福笑い神事



▶神様のご加護をいただく金幣行事



邪鬼を鎮める“鳴弦式” ▲

福徳円満 宝槌打振神事



▲年男役 歌手 松原健之様 (右) 年女役 女優 天玲美音様 (左)

豆撒き神事 くなぜ豆を撒くのでしょく

豆を撒く意味は、豆には穀物の穀霊が宿り生命の源の象徴と考えられ、鬼に豆をぶつけることで邪気を祓い、一年の無病息災を願う意味合いがあります。家庭においては、夕方家のドアや窓を開けて家の主人が豆を撒き家族の幸せを祈ります。豆を自分の年齢より一つ多く食べると、身体が丈夫になり、風邪をひかないとの言い伝えもあります。

幸せを祈るこころ

立春が過ぎると、空には厳しい風が吹き渡っていても、陽射しは春めいてきます。山野の草木は、静かにその芽を育んでいます。このような神々が運ぶ悠久の天地の流れにあわせて、人間もまた春を迎える支度に取り掛かります。なぜ、日本人は数々の伝統行事を大切に護り伝えてきたのでしょうか。それは、季節の恵みへの『感謝』と、日々無事に生活できることへの『喜び』を確認する機会として位置付けてきたからに違いありません。私たちは、伝統行事を楽しみながら生活の中に取り入れ、祖先のところに触れ、日々の生活に『豊かさ』と『潤い』を与えてゆきたいものです。



▲豆撒き神事



▲赤鬼役 井谷茂様 (中央)

伝統行事は、四季折々の「自然」や「風土」に調和しながら「日本のこころ」を伝えていきます



▲奉仕者には「福耕」が授与されます



▲朗らかにご奉仕をされてました

～ ご縁は宝もの ～

(株)フジドリームエアラインズ 三井夕加
北九州空港支店 支店長



「縁」を辞書で調べると「そのようになるめぐりあわせ。人と人との関わり合い。」と説明されています。この度、このような貴重な機会を戴き改めて、今までの人生で私は多くの人に恵まれ様々な「ご縁」を戴いてきたことに驚き、それとともに深い感謝の気持ちで一杯になります。

大学を卒業し入社した旅行会社が半年で倒産。社会人になったばかりで会社の右も左もまだ分からない私は路頭に迷いましたが、幸いにもその間に一緒にお仕事をした方より羽田空港でのお仕事をご紹介下さり、日本航空株式会社に入社、その後は新規航空会社二社の就航立ち上げを経験させていただきました。

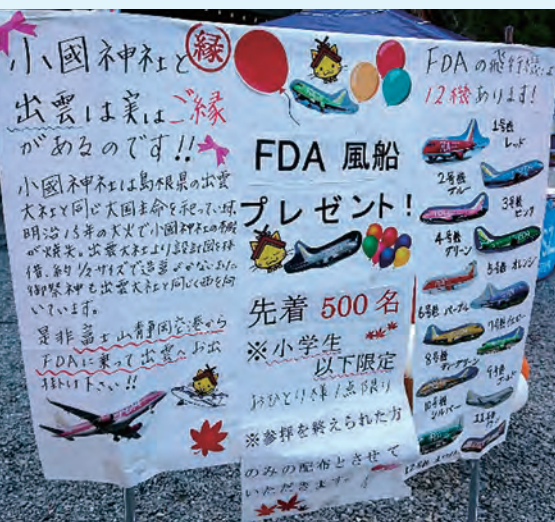
平成二十一年静岡県牧之原市に空港が開港の際、新規に航空会社設立されるとの事で『自分がどこまでできるのか?』を試してみたくなり、鈴木株式会社航空事業部を経て、ご縁あって株式会社フジドリームエアラインズ(FDA)に入社いたしました。

入社後も、旅客畑を歩み、静岡空港を皮切りに信州まつもと、福岡、青森の就航地を経て平成二十七年に現場からの『たたき上げ支店長』として出雲縁結び空港へ着任いたしました。出雲縁結び空港から新規就航会社として名

古屋小牧線の立ち上げに携わらせていただきました。当時、出雲縁結び空港は日本航空のみが運航する空港でした。島根県には土地勘の全くない私は「どのようにして島根の方々に受け入れてもらえ、またFDAという会社や就航路線を認知してもらえらるのだろうか?」と悩む毎日でした。

元来、私は昔から人見知りどころからかと言うとあまり社交的な性格ではありません。しかしながら、一支店の主として任された以上はきちんと実績を残さなければいけません。様々な方に支えていただいたお陰で、毎年便数も増え平成三十年三月には静岡⇨出雲線の就航に至ることができました。

その翌年、静岡営業支店へ転勤が決まり、出雲を離れる際、出雲市より『出雲観光大使』の栄誉をいただきま
手づくりポスターなど



した。私は、生まれも育ちも東京です。出雲には縁もゆかりもない私を地元の方々は本当に温かく迎え入れて下さり、私自身を成長させてくれた第二の『故郷』となりました。

静岡での営業は、静岡空港より西部地区方面のFDAの認知度が少ない現状を受け、一人でもFDAファンを増やして欲しいとのミッションを与えられました。とは言っても、「今まで旅客畑しか歩んでこなかった私に営業なんて出来るのだろうか、ましてや静岡には知り合いは誰一人もない。いったいどうしたらいいのか・・・」とても不安でした。

まずは行動しようと、出雲でのPRイベントの際にお世話になった静岡県観光協会の方に静岡県西部地区の魅力を伺いにゆくことにしました。

その際に、一番にご紹介いただいたのが小國神社さんでした。「出雲大社とは深い縁があるので是非とも話を聞きに行ってみたらいいですよ。」と紹介されすぐに訪問させていただきました。まさか、静岡にも出雲と繋がる所があるとは思いませんでした。まさに、神様のお導きのような本当に不思議なご縁を感じました。

参拝をさせていただくなかで、小國神社のご祭神は、出雲大社のご祭神、



▶ FDAのメンバーたちと



おおくにぬののみこと
 大國主命と同じ神様とされる大己貴命
 が祀られていることはもちろん、小國
 神社が明治十五年の大火を受け、十九
 年に復興する際、設計図を出雲大社か
 ら直接拝借し、大きさを少し小さくし
 たそっくりな大社造りの社殿を再建さ
 れたこと、さらには、本殿の中に奉安
 されている社殿が西を向いていること
 など、知れば知るほど、ご縁の深さに
 驚きました。

その後は、四月の「さくらまつり」
 や十一月の「もみじまつり」に静岡空
 港ビルと一緒にPRブースを出させて
 いただきました。参拝に来られた方々
 にも小國神社と出雲の地には深い関わ
 りがある事を知ってもらいたいと思い、
 自前のポスターを作り、多くの方々
 と話をさせてもらう機会をいただきました。
 このような貴重な経験をさせていただ
 いたばかりに感謝をしています。

おかげさまで出雲線は就航以来、静
 岡県の皆様方に多くご利用いただい
 ています。出雲大社のボランティアガイ
 ドで語り部をしている知人のお母さん
 からも「静岡から沢山お客様が来て
 いただき有難い」とのお声をいただき
 ます。

さて、出雲といえは年間二五〇万人
 が訪れる出雲大社が有名ですが、その
 他にも旧暦十月の神在月に全国の八百
 万の神々をお迎えする聖地、稲佐の浜
 や、出雲大社へ続く参道には名物の
 「出雲ぜんざい」をはじめスイーツや
 食べ歩きグルメのお店が軒をつらねる
 賑やかな神門通りがあります。

ちなみに出雲ぜんざいは神在月で行
 われる「神在祭」でふるまわれた「神
 在餅」がルーツと言われている。「じん
 ざい」が出雲弁で訛って「ぜんざい」
 となったとの事。出雲はぜんざい発祥
 の地という説もあります。

そして、日本の三大そばとも言われる
 「出雲そば」は蕎麦の実を殻ごと挽い
 て作る蕎麦で、黒く香り高いのが特徴
 で、割子と呼ばれる器に小分けにされ
 た冷たい蕎麦に直接つゆをかけていた
 できます。もう一つの食べ方が「釜揚
 げそば」で、これは茹でた蕎麦をその
 まま器に入れて熱いそば湯をかけたも
 のにつゆや薬味を入れて食べる蕎麦で
 体が温まるオススメの食べ方です。魚

も「のどぐる」など白身魚が多く、静
 岡とはまた違った味が楽しめる出雲は
 「食の宝庫」でもあります。

富士山静岡空港よりフジドリームエ
 アラインズのカラフルな飛行機に乗っ
 て出雲までの八十分のあつという間の
 空の旅、是非ともお出掛け下さい。

時折、東京にいる母から届け物があ
 ります。箱を開けると「人にはやさし
 く、温かく接してね。」との手紙があ
 入っています。私が、このように仕事
 をすることができるのは、ご縁があつ
 て様々な方々に出逢い、そして支えて
 もらっているからに他なりません。

これからも不思議な力「ご縁」を大
 切に育み、一日一日を大切に過ごして
 ゆきたいと思えます。

プロフィール

(株)フジドリームエアラインズ
 北九州空港支店 支店長
三井夕加 (みつい ゆか)

昭和45年、東京都大田区生まれ。
 大学卒業後、数社の航空会社で経
 験を積み、平成20年株式会社フジ
 ドリームエアラインズ入社。入社
 後は各就航地を行脚し、令和元年
 九月に北九州空港支店長として現
 在に至る。趣味は歌舞伎鑑賞。



社頭動力静

鎮火祭の齋行

荒ぶる炎を鎮め、火の災いなきように祈る

令和元年十一月十四日に森町長太田康雄様、袋井市森町広域行政組合消防長磯部 剛様、森町議会議長亀澤 進様、森町消防団団長山本真充様を始めとする消防団団員の参列のもと、鎮火祭を執り行いました。

火は人類の生活を飛躍的に発展させてきました。また、古より、火は聖なる存在として、災いを祓い除ける信仰の対象でもあります。

しかしながら、現代においても火は、取り扱いを間違うと荒ぶる炎となり、全てを焼き尽くすエネルギーをもってきます。

参列者の皆さま、大神様の御前で心一つに祈り、大過なく過ごせたことに感謝しつつ、町内安全を願われていました。

▶ご神前より忌火を灯す（令和元年12月14日）



松尾神社鎮座祭の齋行

地域繁栄のシンボル、心の拠り所、ついに復興

令和元年十二月二十一日、松尾神社鎮座祭を執り行いました。

大山昨神をお祀りする松尾神社の創建は古く、安政三年の文書にもその記録が伺えます。

しかしながら、平成三十一年一月二十七日、心ない放火により本殿以下社殿、社務所が全焼してしまいました。

その後、すぐさま松尾神社再建委員会を設置、復興への道筋を定め、一年という大変短い期間で復興に至ったことは、偏に神様を敬う氏子の皆様のご協力があったることです。

これからも神様のご加護のもと地域の発展を心よりお祈り申し上げます



▶ご神霊が鎮められた社殿で玉串拝礼をする氏子（令和元年12月21日）

小國神社氏子青年会奉仕活動のご報告

神社を中心とした地域の発展を願い、大神様への真心のご奉仕

小國神社氏子青年会では、年末年始にかけて様々な奉仕活動を行ないました。

年末には、注連縄の奉製と掛け替え作業の奉仕を行い、年明けからは、「小國神社開運だるま」の授与、正月行事の締めくくりに、一月二十日のどんど焼きの「おはたき餅」の授与奉仕を行ないました。

また、二月には建国記念奉祝パレードにおいて子どもたちの引率を行ない我が国の建国の理念を伝える活動を行ないました。

本年も、神社の発展と地域の発展に寄与できるよう活動を展開し、国を愛する麗しい心と伝統を尊ぶ精神を伝える活動を行なってまいります。



▶注連縄の架け替え作業（令和元年12月22日）

師走の大祓式・除夜祭の齋行

日々の穢れを祓い清め、清々しく一年を迎える

令和元年十二月三十一日大晦日に師走の大祓式を執り行いました。

当日は、約六〇〇名の皆さまが参列されました。

大祓は、私たち日本人の伝統的な考え方に基づくもので、常に清らかな気持ちで日々の生活を送ることができるよう、自らの心身の穢れ、災厄の原因となる諸々の罪や過ちを祓い清めます。

大祓式の後には、引き続き除夜祭を執り行い、大神様のご加護のもと一年を無事に過ごせたことを感謝し、新しい気持ちで、新年を迎えることができるようお祈りいたしました。

古の祝詞

大祓詞の世界への誘い
スペシャルムービー公開中

小國神社 おおはらえのことは

検索



▶師走大祓式 六〇〇名のご参列のもと齋行





▲田遊神事 二番 蛙塗り

田遊祭・田遊神事の齋行

昔の手振りをそのままに、稲作は日本文化の根源です

令和二年一月三日、田遊祭・田遊神事を齋行いたしました。当社の田遊神事の創始は鎌倉時代中期と伝えられています。

「田遊神事」とは、年の始めに豊作を祈願し『田作り』から『刈り入れ』までの稲作過程を模擬的に演じ、田の神を活気づけ秋の豊かな稔りを祈る神事芸能です。

当社の田遊神事の大きな特徴は、古い形を保ったまま今日まで伝承されてきた点です。言霊の霊力による予祝賛美を中心とした祈りが捧げられます。詳しくは

小國神社 田遊祭

検索



▲初めて乗車体験をする参拝者

静岡県警によるパトカー・白バイ乗車体験！

小國神社で、パトカーと白バイに乗れる!!

令和二年一月十日、静岡県警による広報活動の一環でパトカー、白バイの乗車体験が行われました。

拜殿前に突如現れたパトカーと白バイに乗車できるこのことで、参拝者の皆様は興味深そうに体験乗車し、記念撮影などして楽しんでいました。

当社では、古くより交通安全祈願の信仰が息づき、多くの参拝者が日々、訪れています。

これからも大神様のご加護のもと、万全の運転をされますようお願い申し上げます。

本宮山奥磐戸神社例祭の齋行

大神様が初めて降臨された聖なる山

一月六日に本宮山奥磐戸神社例祭を執り行いました。

社伝では、大神様が本宮山山頂に「欽明天皇十六年乙亥二月十八日」に天降られたと記され、本宮山奥磐戸神社は、「一宮ノ荒魂社奥院也」とされ、現在の本社とは元宮と里宮の関係です。当日は、一二〇名のご参列のもと、盛大に執り行われ、祭典終了後にはお神札を授与し、古式神酒とお下がりを受けました。

年の初めに本宮山山頂で大神様のご加護を受けられた皆さまは、一様に清々しい表情をされていました。

本宮山奥磐戸神社へのアクセス

検索



▲清々しく登拝された皆さま
本宮山奥磐戸神社例祭

御弓始祭の齋行

年の始めに祈る「五穀豊穣」と「厄神鎮送」

本年一月十七日に御弓始祭を齋行いたしました。

当日は、宮司が祝詞を奏上した後、舞殿東側の内庭にて、県内の弓道愛好家らが所属する大弓会のご奉仕により御弓始神事を厳かに執り行いました。日置流大式的作法によりおこなわれるこの神事は、一挙手一投足が非常に細やかで、美しい神事です。

地射手が約二十八メートル先の的に矢を放つと、鋭い風音が響き、斎場からは歓声があがりました。

的を射貫いた矢は魔除けの縁起物と伝わり、的の近くで拝観している参拝者が我先にと手を伸ばしていました。



▲御弓始祭 日置流の作法で的を射る

紀元祭の齋行

日 本の国柄を正しく知り、その精神を後世に伝える

本年は、初代神武天皇が建国し、ご即位された日より二六八〇年を迎えます。

二月十一日に建国の偉業を仰ぎ、我が国の発展をお祈りする紀元祭を執り行いました。祭典後には、五〇〇余名が奉祝記念式典に参加しました。

日本は、国家の起源を神話に求めることができます。その歴史が、神代から現在まで一本の糸で繋がる類い稀なる国家です。

この祝日は、二六八〇年続く我が国の歴史と伝統について考える良い機会であると思います。



奉納記念式典後の餅つき大会(令和2年2月11日)▲

祈年祭の齋行

日 本人の原点を伝える、「としごいのまつり」

令和二年二月十八日、祈年祭を執り行いました。

祈年祭は、「としごいのまつり」とも呼ばれています。「とし稲の魂」、「こいし祈り」を表わします。五穀の豊かな稔りと、国家の安泰を祈るお祭りです。

お米をはじめとする作物の収穫への感謝と豊作への祈りが神社にとって最も大切なお祭りとして位置付けられていることから、稲作は、日本文化の原点であると言えます。

また、本年も松尾貞子様より椎茸やキャベツなど多数ご奉納いただき、ご神前にお供えしての齋行となりました。松尾様のご厚志に深く感謝を申し上げます。



祈年祭“五穀豊穰”と“諸産業の発展”を祈る▲



▲真剣な眼差しの生徒たち(令和2年1月23日)

県立遠江総合高校
創作雅楽の奉納演奏

神 様への感謝、生かされている喜びを知る

令和二年一月二十三日、遠江総合高校三年生の選択授業「伝統音楽」の履修生による創作雅楽の奉納演奏が行われました。

奉納された楽曲「小國神社に捧げる舞」を作曲・作舞した担当講師牧田明子先生は、「神さまを敬い暮らしてきた日本の古き良き伝統に親しみ、和の心を育んでもらいたい。」との思いで、生徒たちを指導されています。

当日は、報道陣によるインタビューも行われ、演奏を終えた生徒からは、「一年間の練習の成果をご神前で発揮できました。貴重な場所での演奏ができて幸せです。」や「この一年で学んだことをこれからの社会生活に生かしていきたい。」との感想を充実した表情で話していました。

新春点描



八王子社奉射神事(令和2年1月17日)▲



▶手新神事ご奉仕の山本喜規様



▶自転車でのご参拝も増えています(令和2年1月4日)

神々とお祭り

私たちの祖先は、かみまつ神祭りのなかから生き方を学び信仰の礎としてきました。

また、古くからの伝承や歴史をふまえ、豊かに暮らす知恵を生活のなかに生かし、神々と生活をともにしてきました。

毎年同じ時期にお祭りが繰り返される。われ、私たちはその中で信仰や文化をかたちづくってきました。

「お祭り」とは、

日本の伝統にもとづいて、神々に対する祖先のこころを今に伝える大切なかたちです。



興静会 活動のご報告



六曲屏風 歌々吟
 出典…王陽明語 林玄齋跋



多くの皆さまにご出席いただきました▲
 (令和2年1月25日)

前号にて、渾身の受賞作品をご紹介いたしましたところ、多くの皆さまより、「素晴らしい作品に心が沸き立つようです。」や「それぞれの祈りが書を通じて伝わってくる。」などの反響をいただきました。

また、静岡放送が、このたびの活動を年末の報道特集として取材いただくなど、各方面よりご理解を賜りますこと重ねて御礼申し上げます。

内憂外患の時代にあっても、『令和の時代を素晴らしい時代にしてゆきたい』との前向きで真摯な祈りが託された作品は、多くの人々の心に感動を与えてくれました。

本号では、奉納大会の様子をはじめ、実施した興静会の諸事業についてお伝えいたします。



杭迫先生を囲み語る会にて▲

書家 杭迫柏樹先生を 囲み語る集いの開催

令和元年十一月二十五日、掛川グランドホテルにて『書家 杭迫柏樹先生を囲み語る集い』をおこないました。当日は、一〇〇名を超える興静会会員、関係者らが出席をいたしました。

挨拶で杭迫先生は「多くの方々に支えられて、ここまで来ることができました。書を通じて恩返しをしたい。と述べられました。杭迫先生を囲みながら和やかに会は進み、今後の展望などを語り合うことができました。



杭迫先生ご夫婦▲



杭迫先生、正副会長、ご来賓の皆さまと▲

令和「書」奉納大会表彰式

本年七月一日より、九月三十日にかけて開催をした令和「書」奉納大会では、全国より渾身の作品約二、五〇〇点が奉納となりました。杭迫柏樹先生、中澤皐揚先生、興静会会長当社宮司による厳正な審査のもと受賞作品七作品が決定となりました。

去る、令和元年十二月八日に受賞者を含む優秀作品奉納者への表彰式を開催いたしました。表彰式には、遠く北海道からお越しになり総勢一〇〇余名の盛大な式となりました。

受賞者の皆さまには、席上揮毫をご披露いただき、出席者らは張り詰める緊張感のもと力強く繊細な筆運びを真剣な表情で見つめていました。



受賞者の皆さま(令和元年12月8日) ▲



▲杭迫柏樹先生



▶中澤皐揚先生



◀当社宮司

書を通じた
「郷里」・「国」・「世界」の
文化興隆を願ひ



杭迫柏樹賞(大人の部)受賞 ▲
森重粹紅(純子)様



席上揮毫を披露する ▲
衆議院議員 宮澤博行様



▲席上揮毫を終えたばかりの
受賞者

プロフィール

書家
杭迫柏樹



昭和9年、静岡県周智郡森町に生まれる。幼少より書に親しみ、毎日大きな硯に大量の墨をすり、なくなるまで書くほどに熱中する。書家を志し、京都学芸大学美術科(書専攻)へ入学、卒業。現代書道の巨匠、村上三島に師事、後に日展初入選を果たす。本格的な書家と

しての活動のため、教職の辞職を決意。以後、日展内閣総理大臣賞(平成17年)、日本芸術院賞(平成20年)、京都府文化功労章(平成22年)、紺綬褒章(平成26年)など多数の賞を受賞。日本を代表する書家として、国内外で活躍中。

○現職○
(公社)日展名誉・特別会員・(公社)日本書芸院名誉顧問・(公社)全日本書道連盟顧問・(公財)全国美術振興会顧問・読売書法会最高幹部会会議議長・顧問など多数

入会のご案内、ご相談は
興静会事務局(小國神社内)
電話 一〇〇〇
(〇五三八)八九一七三〇二
年会費一〇、〇〇〇円

興静会の活動について

今後、先生の熱誠に応えるべく、当会では、左記のような活動をおこなってまいります。

- 公共施設への作品奉納及び寄贈
- 新元号「令和」書 奉納大会
- 揮毫機会の創出
- シンポジウム・講演会・研究懇談会等の開催
- 筆塚の建立と筆感謝祭・筆供養などの開催
- その他関連する活動など

マークエステル展 in 小國神社 の開催

この度、令和二年二月二十二日〜令和二年三月一日の間、小國神社（静岡県森町）の多目的研修スペース（第2会場）と参拝者休憩所（第1会場）にてフランス人画家マークエステル・スキヤルフィシヤフイキ画伯の画業五十周年を記念した「マークエステル展in小國神社」が開催（主催：(株)H&T / 後援：小國神社）されました。

期間中、拝観者らは、唯一無二の色彩で描かれた古事記の世界観を思い思いに堪能し、「オリンピックを控え、これから日本が注目される中、世界の人々にも日本の精神文化の深淵である古事記を知って欲しい。」などと感嘆の声を上げていました。



唯一無二の色彩の世界と 日本神話「古事記」の 世界観の共演

古事記をモチーフとした作品を 多数世に送り出す

マークエステル画伯は来日されてより四十四年、古事記をモチーフとした作品を数多く製作され、日本の精神文化を国内、世界にむけて広める活動を展開されてきました。昨年は、『天皇陛下御即位をお祝いする国民祭典』で画伯の作品十五作品が巨大スクリーンに投影され、古事記の世界観が語られたことは記憶に新しいところです。

画伯は、ビートルズ、シャガールや岡本太郎との交流の中で独自の色彩を持つ油彩画技法を確立され、現在はガラス作品・ブロンズ作品なども手がけるマルチアーティストとして活躍をしています。



▲マークエステル画伯奉納作品
「大己貴命から愛を受ける
因幡の白うさぎ」

神社への奉納活動、 日本の神々の美しい 御姿を描き続ける

平成八年より、神宮をはじめとする全国の神社へ古事記をモチーフとした作品の奉納をおこない、平成二十七年には、当社へ油彩画『大己貴命から愛を受ける因幡の白うさぎ』を奉納、現在までに一八四社に奉納をされています。

画伯は、「今後も勢力的に奉納活動が続いていきたい。」と述べられています。当社に奉納された作品はどなたでも拝観できます。ご希望の方は当社までご連絡ください。



▶富士の祭りの準備 / 油彩画



マークエステル展 in 小國神社



喜寿の祝いを迎え、
さらに勢力的に
芸術活動へ力を注ぐ

令和二年二月二十三日、画伯は令和最初となる天長祭に参列されました。引き続き、約七十名の出席者のなか、開催記念式展を行いました。式典には、森町長 太田康夫様、袋井市商工会議所専務理事 鈴木満明様、(福)聖隷福祉事業団理事長 山本敏博様、静岡理工科大学名誉学長 荒木信幸様が出席し、各界より祝辞が述べられました。

また、サプライズとして、画伯が二月二十六日に喜寿(七十七歳)を迎えることを皆でお祝いしようと、バースデーケーキと歌のプレゼントがされました。

宮司は挨拶で「様々なスタイルで古事記が表現されることは大変喜ばしい、それらがきっかけとなり、古典の神髄に触れ、深く学んでいただきたい。」と述べ、画伯は「日本が育んできた精神文化は今、世界の人々が必要としている精神姿勢です。」と述べました。

画伯の心の籠もった挨拶からは、日本への愛、日本の精神文化の可能性、そして、西洋と東洋の架け橋である日本人への強い期待がひしひしと伝わっていました。私たちも改めて襟を直し、そのような期待に応えることができる日本人にならないければならないと強く感じました。



◀ 令和の御代始めての天長祭に参列された画伯



▲ お祝いのバースデーケーキの炎を吹き消す



▲ フランス語で乾杯の発声をされた袋井商工会議所専務理事 鈴木満明様



▲ 歓談する出席者の皆さま

「日本が育んできた精神文化は今、世界の人々が必要としている精神姿勢です」



◀ 聖隷福祉事業団理事長
山本敏博様



◀ 森町長
太田康雄様



◀ 当社宮司

唯一無二の色彩に 心沸きたつ



▲ 絵画の世界に浸る拝観者



▲ 氏子の方々が画伯へ「大國だるま」をプレゼントされました



▲ 静岡理科大学名誉学長
荒木信行様

活動

●1973年

元首相の岸信介、佐藤栄作両氏の後援によりABCギャラリーにて展覧会を開く。その時、安倍晋太郎氏と出会い、親交を結ぶ。備前焼の陶芸家、藤原啓氏と雄氏（両氏とも人間国宝）と出会い、後に共に制作。

●1982年

東京・東急渋谷本店にて初個展。サンフランシスコのギャラリー・ワンにて個展。

東京、大阪、京都で「たち吉」主催の「たちばな展」にて陶器と漆作品による個展。

これを機に工芸品の制作が始まる。

●2015年

九州国立博物館にて「日本神話展」を開催。

横浜市大倉山記念館、さいたま市文化センター、東京銀座、クリエート浜松、あわぎんホールにて個展。

NHK World TV の取材を受ける。

他、活動多数。詳細は公式ホームページをご覧ください。

WEB <http://h-a-t.jp/index.php>

プロフィール

マークエステル・ スキャルフィシャフィキ

マークエステル、本名マーク・アントワヌ・スキャルフィキ。800年続く名門スキャルフィキ家出身。同家の起源は、祖先がドイツからイタリアのジェノバに移り住んだ12世紀の初頭にさかのぼる。同世紀半ばにローマ教皇から貴族に列せられた。

マークエステルは、1943年2月26日パリに生まれる。1945年、コート・ダジュールのエズに父ロベールと母カルメンが開業した「バナレイホテル」に移り住む。後に同じくエズに創設した「カップエステルホテル」に住み、地中海の美しい自然環境の中で時を過ごした。

カップエステルとは「星の岬」の意味。ホテルはニースとモンテカルロの間に位置し、壮大な庭園と深い紺碧の地中海が混ざり合う独特な雰囲気は、創作にインスピレーションをもたらすには申し分のない環境であり、芸術家になる礎となった。



「カップエステルホテル」の滞在客の中には世界各国の著名人が多く、グレタ・ガルボ、アンソニー・クイン、チャーリー・チャップリン、ケネディー家、ボンビドゥー家、グレース王妃、ルドルフ・ヌレエフ、ブライアン・エブシュタイン、ビートルズ等と交流があった。





天皇陛下 御即位記念

令和の お屋根替え

次世代へ繋ぐ 祈り・技・美



ご奉賛のお願い

小國神社では、令和の御代替わりをお祝いし、天皇陛下御即位記念『令和のお屋根替え』〜次世代へつなぐ祈り・技・美〜を、四年の歳月をかけ、御本殿以下社殿群のお屋根の葺き替え工事をおこないます。

当社の御本殿以下社殿のお屋根は、日本唯一の伝統技法「檜皮葺」（檜の皮で屋根を葺く技法）で葺かれた屋根です。古来より、その造形の柔らかな曲線と風合いに代表される繊細な優美さは、日本の風土と調和してきました。古典文学「枕草子」には、『雪は檜皮葺、いとめでたし。すこし消えがたになりたるほど。』と綴られ、白雪と檜皮の屋根が織りなす色の絶妙なコントラストが風情豊かに表現されています。

また、定期的な葺き替えが必要であることが示すように、材そのものの美しさを喜び讃え、清らかな状態を大切にしてきた私たちの祖先が造りだした「日本の美」であり、古より変わることのない神様への「祈り」が、その「技」と「美」を護り伝えてきました。

しかしながら、現在、御本殿以下社殿のお屋根は、古いものでは六十余年、新しいものでも四十余年の月日が経過しております。檜皮を使ったお屋根はたびたび補修を施して参りましたが、耐用年数を考慮するとき、葺き替え工事に着手するべきと判断致しました。

つきましては、ご祭神、大己貴命が鎮まる御本殿をはじめ社殿の常若（いつまでも若々しくあること）に努め、先人が護り伝えてきた、「祈りの精神文化」と貴重な「伝統技術」を次世代につなぎ、より一層神さまのご加護を戴けますよう、本事業を進めて参りたく存じます。

世情厳しい折かと存じますが何卒、趣旨をご理解いただき、ご支援、ご奉賛を賜りますようお願い申し上げます。

遠江国一宮 小國神社
小國神社崇敬奉賛会
天皇陛下御即位記念事業「令和のお屋根替え」
募財委員会委員長 松井 宏悦

募財期間：令和元年 8月 1日から
令和 5年10月30日まで
総予算：3億5,000万円

工期日程

- 第1期工事 令和2年1月14日～ 3月31日：真名井(完工)
令和2年2月12日～10月20日：神徳殿・渡り殿(着工)
- 第2期工事 令和3年2月12日～10月30日：御本殿
令和4年2月12日～ 5月30日：並宮
- 第3期工事 令和4年4月20日～12月10日：拝殿
令和5年2月12日～10月30日：中門、幣殿

お屋根替えにともなう主な文化事業 (葺き替え工事現場見学会)

屋根葺き替え作業の様子を一般公開いたします。
日程、お申し込み方法は、改めてお知らせいたします。

ご寄付に関する詳しいお問い合わせは、
小國神社崇敬奉賛会事務局までお願いいたします。

○お問い合わせ先：小國神社崇敬奉賛会事務局
〒437-0226 静岡県森町一宮3956-1
電話：0538-89-7302

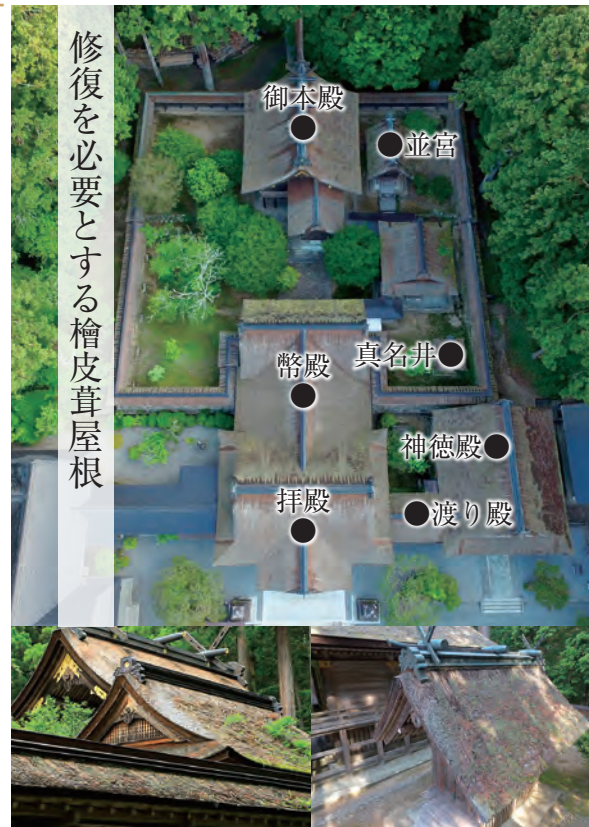
Email oyanegae@okunijinja.or.jp
「令和のお屋根替え」～次世代へつなぐ 祈り・技・美～
公式WEBサイト okunijinja.or.jp/oyanegae/



奉賛金について
社務所にてお申し込みができます。
(その他の方法をご希望の方は事務局までお問い合わせ下さい)

永い年月に亘って雨風に晒された屋根は、損傷や経年劣化、植物の侵食などが確認できます。

修復を必要とする檜皮葺屋根





令和のお屋根替え

檜皮葺

ひわだ ぶき

一三〇〇年にわたって継承される、優雅な造形美と日本の風土に適応した「用と美」の伝統技法

小國神社のお屋根は、日本古来の伝統技法「檜皮葺」（檜の皮で屋根を葺く技法）で葺かれた屋根です。

飛鳥時代に広まり、奈良時代では上級建築に用いられ、平安時代には最も格式の高い屋根工法となり、神社建築などに用いられました。

樹齢百年以上の檜を伐採することなく皮だけを採取し、職人の手によって仕上げられる檜皮葺屋根は、三十年以上の雨風から御社をまもる機能性と繊細で美しい曲線美を兼ね揃えた、国外には例を見ない日本特有の文化資産としても認知されています。



職人紹介

株式会社 村上社寺工芸社
 大正4年創業。兵庫県丹波市で100余年の歴史をもつ。日本古来の技法で、国の選定保存技術に指定されている檜皮葺・柿葺の職人技術をもち、国内の国宝・重要文化財等社寺仏閣の屋根を葺く。創業年に「遠江国一宮 小國神社 檜皮葺屋根の葺替え」を施工した記録が残る。



創業当時の記録

進捗状況

現在、真名井のお屋根の修復が完工し、神徳殿のお屋根に着工しています。
 （令和二年三月現在）



▲真名井 品軒を整える職人（令和2年2月15日）



▲神徳殿 社叢にも馴染む木製の足場（令和2年2月18日）

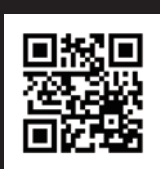


▲神徳殿・渡り殿 古い屋根を剥がし調査をおこなう（令和2年3月13日）



檜皮を整える村上社寺工芸社の職人達

YouTube



綴皮工程の動画がご覧頂けます。

職人の技【片手で竹釘を打つ】



20~30 本程の竹釘を口に含み、舌を使って一本ずつ口から釘を出します。金槌を握る手で釘を掴み、屋根金槌の「伏金」と呼ばれる部分で檜皮に差込み、金槌で打ち込みます。金槌の格子状の溝により竹釘の頭が潰れ、抜けない形状で完全に打ち込まれます。

YouTube



片手釘打の動画がご覧頂けます。

天皇陛下御即位記念

令和のお屋根替え

次世代へつなぐ祈り・技・美

『ご奉賛の皆さま』

お陰をもちまして、多くの皆さまに天皇陛下御即位記念「令和のお屋根替え」の趣旨をご理解頂き、ご支援、ご奉賛を賜りますこと篤く御礼申し上げます。

現在、真名井の葺き替え工事が完工し、神徳殿（祈祷殿）の工事に着手しています。

ご奉納頂いたご浄財は造営資金として大切に活用させていただきます。

職員一同、更なるご神徳の発揚に努めて参りますので、今後も変わらないご崇敬を賜りますれば幸いに存じます。

ここに、ご芳名を掲載し改めまして重ねて御礼を申し上げます。

●三百萬元以上

浜名梱包輸送(株)

代表取締役社長 鈴木 猛

●壹拾萬元以上

宮谷 宗良

山田 信一

太田 好伯

袴田 桂子

大場 敏宏

鈴木 新一

狩野 圭祐

明光電気(株)

代表取締役社長 林 眞一郎

中村 康夫

(株)内田建設

代表取締役社長 内田 敏二

(株)第一印刷

田中 一兆

金原 惣吉

鈴木 敬

●壹百萬円以上

朝日電装株式会社

代表取締役社長 山田 和紀

原田多加資

大場 孝尙

鈴木 晃

●五拾萬元以上

宮澤 史彦

大場 康正

毛利 多克

神間八千代

●参拾萬元以上

高木 工

大場 努

山下 和成

片桐 和弘

小池 忠

小林 敏彦

松本 直也

平野 雄介

高林 嘉子

大村 博陸

生沼美裕紀

良家 西村良一

森下 義明

豊一商店

鈴木 和彦

金子 祥徳

池田 清華

加茂 博子

中里 賢一

加藤 元文

伊藤 哲義

菅沼 悦治

片桐有香史

片桐 大己

田邊 重文

山本 忠広

佐々木ステイナ

橋本 龍生

川上 嘉弘

河合 正敏

河野 訓三

山田 信男

小松希伊子

中山 忠勝

近藤 静子

坪田 伴夫

創和設計(株)

山崎 隆史

栗田得起千

鈴木 和葉

鈴木さち代

高木 康夫

平野 達雄

望月 宏悦

今岡 利男

鈴木 弘

高柴 久則

石田 康幸

池田 香織

梶山 康成

志田 春一

鈴木 英方

倉田まゆみ

大橋 明夫

坂本 友一

松島 辰男

鈴木 裕人

ハレオ鍼灸院

市川一巳

大窪利久代

R工房(株)

鈴木さち子

鈴木 健夫

植田 茂喜

平林 範之

大野 誠治

鈴木 健夫

植田 茂喜

平林 範之

大野 誠治

天野 眞弓

竹澤 隆国

星野由美子

鈴木恵美子

鈴木 敦子

藤田佐和子

島田 明

今井 肇

山口 耕司

米田 善紀

安間 信人

仲井 康文

坂本 寿志

田中 淳司

平田 爽馬

山田 梨沙

浅井 政良

磯部 竜佑

鎌田いづみ

大野 敬久

中村 繁治

川合 清郷

峯村 優作

外岡施術院

竹内 節子

伊藤二三男

伊藤 総子

三浦 勉

秋山 浩

田中 慎己

竹内 章友

吉山 雄貴

壽山 明男

大塚 史人

大塚 由佳

中島 徳是

佐次本 守

松本 美保

諸岡 清八

今井 史将

保科 広樹

大石 文子

川原 優

山崎 猛

井川 慶太

伊藤弥寿子

江川 和宏

江川 典子

一木 京子

望月佑里子

富田梨恵子

渡邊えい子

忠内 孝芳

小池 俊之

鈴木 勝夫

大隅進之介

小松 喜美

鶴飼千恵子

三浦 信也

小倉 治

増田 卓朗

野中 立也

松本 好彦

西山 直幸

asesantem(東京)

森 昌子

asesantem(静岡)

森 昌子

山田 賢

盛林 優

杉田理緒奈

野口 信明

窪野 紀子

おそうじ屋さん

清水店

亀川 一也

川原 優

山崎 猛

井川 慶太

伊藤弥寿子

江川 和宏

江川 典子

一木 京子

望月佑里子

富田梨恵子

渡邊えい子

忠内 孝芳

小池 俊之

鈴木 勝夫

大隅進之介

小松 喜美

鶴飼千恵子

三浦 信也

小倉 治

増田 卓朗

野中 立也

松本 好彦

西山 直幸

asesantem(東京)

森 昌子

asesantem(静岡)

森 昌子

山田 賢

盛林 優

杉田理緒奈

野口 信明

窪野 紀子

おそうじ屋さん

清水店

亀川 一也

川原 優

山崎 猛

井川 慶太

伊藤弥寿子

江川 和宏

江川 典子

一木 京子

望月佑里子

富田梨恵子

渡邊えい子

忠内 孝芳

小池 俊之

鈴木 勝夫

大隅進之介

小松 喜美

鶴飼千恵子

三浦 信也

小倉 治

増田 卓朗

野中 立也

松本 好彦

西山 直幸

asesantem(東京)

森 昌子

asesantem(静岡)

森 昌子

山田 賢

盛林 優

杉田理緒奈

野口 信明

窪野 紀子

おそうじ屋さん

清水店

亀川 一也

川原 優

山崎 猛

井川 慶太

伊藤弥寿子

江川 和宏

江川 典子

一木 京子

望月佑里子

富田梨恵子

渡邊えい子

忠内 孝芳

小池 俊之

鈴木 勝夫

大隅進之介

小松 喜美

鶴飼千恵子

三浦 信也

小倉 治

増田 卓朗

野中 立也

松本 好彦

西山 直幸

asesantem(東京)

森 昌子

asesantem(静岡)

森 昌子

山田 賢

盛林 優

杉田理緒奈

野口 信明

窪野 紀子

おそうじ屋さん

清水店

亀川 一也

川原 優

山崎 猛

井川 慶太

神さまと暮らす豊かな生きかたを提案する

遠江国宮 小國神社 × 静岡木工 × たたらなおき

今年も開催!! テーマは『日本書紀』
小國神社と人と暮らしとかみのたな展

小國神社研修室で本年度で五回目の開催となる「小國神社と人と暮らしとかみのたな展」を令和二年四月二十九日～五月十日の大型連休期間に開催します。

本展示のテーマは『日本書紀』日本初の歴史書として位置づけられる本書が上撰され一三〇〇年の節目の年にあたります。「古事記」に比べると難しいと思われがちな「日本書紀」を、静岡を代表する絵本・造形作家のたたらなおき先生の作品とともに楽しく解説します。

日本書紀を読み解くと私たちの祖先が語ってきた、神代の伝承と古代日本の歩みにふれることができます。

古の書物が示すように、日本の『神さまと暮らす文化』は現代へ続き、各家庭のおまつりへと広がり、私たちの国の礎をつくってきました。

企画展示と共に会場内には展示販売スペースを準備。家庭のまつりを担う「神棚」や全国各地から集めた神具の逸品、暮らしを丁寧にする様々な品を多数ご用意し、日本の神事を広くお伝えしていきます。



▲扶桑社より今夏発売予定のたたらなおき作「まんが日本書紀(仮)」



おおはらえのことば

時代を通して変わらない大切なもの、「それは清らかな心」



一三〇〇年以上前から伝わる「祝詞」(のりと)「大祓詞」(おおはらえのことば)を紐解くと、太古の人々が「はらえ」(生まれ出たときの様な清らかなころになること)を大切にしていたことがとてもよくわかります。この作品は大祓詞の深遠な世界観をアニメーションで表現をしました。

いにしへの祝詞

おおはらえのことば 大祓詞の世界への誘い
おおはらえのことば

公式ウェブサイト特設ページでムービー公開中



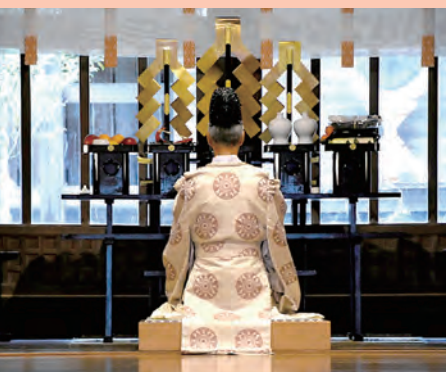
小國神社 おおはらえのことば 検索

これからの 行事

7月



宮代神饌御田植祭



端午祭



5月5日午前10時より斎行いたします。

菖蒲の節句とも言われ、お子様の健やかな成長を祈るお祭りです。祭典後は邪気を祓う菖蒲とよもぎの葉を授与いたします。



4月4日(土)・5月2日(土)・6月6日(土)の日の出より午後3時頃まで
小國神社第5駐車場で開催!!
大骨董蚤の市のご案内!!
～隠れた銘品を探して…～

早朝から、多くの店舗が軒を連ねます。陶器や古着、アンティーク品など多種多様な骨董品が出品されます。

貴重な銘品も隠れていそうです。お店を覗きながら、骨董商との会話を楽しんでみてはいかがでしょうか。

6月

みなづき 水無月

- 1日 月次祭 (午前 9時)
- 1日 花菖蒲園開園奉告祭 (午前 9時)
- 6日 大骨董蚤の市 (日の出～午後3時)
- 6日 本宮山月次祭 (午前10時)
- 7日 花しょうぶまつり (午前10時30分)
- 18日 月次祭 (午前 9時)
- 21日 御田植祭 (午前 9時)
- 30日 夏越の大祓式 (午後 3時)

7月

ふみづき 文月

- 1日 月次祭 (午前 9時)
- 4日 大骨董蚤の市 (日の出～午後3時)
- 6日 本宮山月次祭 (午前10時)
- 18日 月次祭 (午前 9時)
- 20日 甲子祭 (午前 9時)
- 31日 愛宕神社例祭 (午前10時)

小國神社の祭典・

4月～

令和2年6月30日(火)午後3時より

夏越大祓式

半年に一度、日常生活の中で犯した罪や過ち、心身の穢れを人形に託して川や海に流し、祓い清める神事です。

引続き茅の輪くぐり神事を行い、無病息災を祈ります。どなたでもご参列ができます。

半年の罪穢れを祓い、身も心も清々しい気持ちで新たな季節をお迎え下さい。

小國神社 おはらえのことば

検索

スペシャルムービー～古の祝詞 大祓詞への誘い～

4月

卯月

- 1日 月次祭 (午前 9時)
- 3日 神武天皇祭遙拝式 (午前 9時)
- 4日 大骨董蚤の市 (日の出～午後3時)
- 4日 勸学祭 (午前11時)
- 6日 本宮山月次祭 (午前10時)
- 8日 杉 祭 (午前 9時)
- 8日 全国一宮等合殿社例祭 (午前 9時30分)
- 16日 献茶祭(茶商組合) (午前 9時30分)
- 16日 垢籬祭 (午前11時)
- 16日 舞 揃 (午後 2時)
- 17日 献詠祭 (午前 9時)
- 17日 前日祭 (午前10時)
- 18日 例 祭 (午前10時)
- 18日 十二段舞楽奉奏 (午後 2時)
- 19日 氏子入り奉告祭 (午前10時)
- 19日 立皇嗣の礼当日神社で行う祭祀
- 19日 十二段舞楽奉奏 (午前10時50分)
- 19日 神幸祭 (午後 2時)
- 19日 献茶祭(手揉み保存会) (午後 4時)
- 29日 昭和祭 (午前 9時)

5月

皐月

- 1日 月次祭 (午前 9時)
- 2日 大骨董蚤の市 (日の出～午後3時)
- 5日 端午祭 (午前10時)
- 6日 本宮山青葉祭 (午前11時)
- 18日 月次祭 (午前 9時)
- 21日 甲子祭 (午前 9時)
- 31日 宮代神饌田御田植祭 (午前11時)



花しょうぶまつり

6月7日午前10時30分より開催いたします。

箏や尺八の演奏で皆様をおもてなしいたします。

神々が運ぶ季節の移ろいのご神域の賑わいを感じてください。



本宮山青葉祭

5月6日午前11時より斎行いたします。

本宮山の新緑が鮮やかな美しい季節です。どなたでもご参列ができます。是非、ご登拝され大神様のご加護をお受けください。



大神様へ感謝の真心まごころを伝える

日々々の感謝を伝え、
ともに喜びを分かち合う

本年の例祭期間は四月十六日(木)末社塩井神社の垢離祭(神職・舞楽人が身を清める塩水を汲むお祭り)の斎行にはじまり、十七日(金)には前日祭を執り行い、十八日(木)の例祭を迎えます。十九日(日)十一時から古式十二段舞楽を奉奏し、午後二時からの神幸祭は、勅使行列を自粛し斎行します。

大神様のもとに地域の人々が集まり、日々の感謝を申し上げ、共に喜びを分かち合い、祝うことをご加護はより広く行き渡ります。

氏子崇敬者の皆様におかれましては、年に一度のこの期間に是非、ご家族でご参拝ください。

例祭期間のご案内



令和二年四月十八日

例祭の斎行

例祭とは

大神様へ捧ぐ日々の感謝

神社にとって最も重要な祭祀で、通常は年に一度執り行われます。その神社やご祭神によって特別に由緒あるお祭りや、俗に例大祭とも称されます。例祭の期日は神社によって様々で、ご祭神に関わりの深い日や、神社の創建の日など、その神社にゆかりの深い日があてられます。当社では、ご祭神「大己貴命おおおののみこと」が本宮山に鎮まつたと伝わる由緒ある日です。

稚児行列・お稚児さん募集

小国大神様と一緒に行列をなして ご加護をいただきますように

四月十九日(日)午後二時より神幸祭(神輿渡御)にあわせ稚児行列を行ないます。

古くから、稚児は神さまに近い清浄な存在として、多くの神事において重要な役割を果してきました。

お子さまの健全な成長に感謝し神さまのご加護をいただき、鮮やかな衣装を身に纏い、一生の記念に残るお稚児さんを体験奉仕されてはいかがでしょうか。

●募集要項●

- 対象者 小学校三年生までの男女
 - 初穂料(参加費) 5,000円也
 - 締切り 3月31日(火)
 - お申込み問合せ先 TEL (0538) 89-7302
- 『小国神社振興会 お稚児さん係』



令和二年四月十八日、十九日奉奏

一、三〇〇年前から続く

伝統の舞楽



特殊神事芸能 小國神社 古式十二段舞楽



▲七番 安摩

古式十二段舞楽 その歴史

十二段舞楽は、大神様への誠心をもって奉納することを本義とし、毎年四月十八日に近い土・日曜日（本年は十八日・十九日）にほぼ一日をかけて奉奏します。

この日付は、欽明天皇十六年（五五五年）春十八日、本宮山にご神霊が出現したという当社の創建にちなんだものです。また、大宝元年（七〇一年）二月十八日には都から勅使（天皇のお使い）が出向き、現在の社地に里宮を開き、十二段の舞を奉納したことが舞楽の始まりと伝承されています。昭和五十七年一月二十三日文化庁より「重要無形民俗文化財」に指定され現在に至ります。

東洋文化の精

舞楽は、東洋に発達した古代芸術の代表的なもので、『東洋文化の精』とも言われています。十二段舞楽の原型となる様々な芸能が渡来してきたのは八世紀初頭、西暦七〇〇年頃と考えられています。

その後、都では盛んに舞楽が奏でられ、平安時代初頭には早くもその黄金期を迎え、十二〜十三世紀にそれらが地方に伝播したと学術的には考えられています。

しかしながら、当社への舞楽の伝来は八世紀初頭と早く、都と当社との関係性の深さを伺わせません。そして、当社の舞楽の細部には、中央で失われたとされている所作が部分的に残っていることからその古さがわかります。

同時に、その古の形が現在まで伝承されていることに古式十二段舞楽の独自性があります。



三番 蝶の舞 ▲



八番 二の舞 ▲

奉納演目

● 令和二年四月十八日(土)
午後二時より奉奏

● 令和二年四月十九日(日)
午前十一時より奉奏

- 一 番 連舞 (子ども舞)
- 二 番 色香 (大人舞)
- 三 番 蝶の舞 (子ども舞)
- 四 番 鳥の舞 (子ども舞)
- 五 番 太平楽 (子ども舞)
- 六 番 新まつく (子ども舞)
- 七 番 安摩 (大人舞)
- 八 番 二の舞 (大人舞)
- 九 番 陵王 (大人舞)
- 十 番 抜頭 (子ども舞)
- 十一 番 納蘇利 (大人舞)
- 十二 番 獅子 (大人舞)

演目の詳しい解説は

小國神社 十二段舞楽

検索

新生児選名・命名について

生を受け、生を伝える 「人の一生」

様々な節目を迎えるとき、神さまへ「感謝」と「ご奉告」を行うことは、古来より受け継がれた日本の文化です。

当社では、日本の伝統文化に則した新生児にふさわしい名前を選名いたします。また、ご家族で考えられたお名前候補の中からご相談の上、選名いたします。

お名前が決定の後、お子様の無事成長と一生の幸せをご神前でお祈りし、お神札、朱印を押印した命名書を授与しております。

命名

令和元年十二月一日(日)
令和二年二月二十九日(土)

藤原 名都 御前崎市	原田 莉繪 掛川市	鈴木のの 磐田市
友田 朱音 森町	吉岡 優輔 浜松市	清水 結加 御前崎市
小久江 琴菜 袋井市	羽川 晃平 浜松市	今村 莉緒 掛川市
酒井 淳三郎 群馬県	鈴木 美晴 神奈川県	岡本 紗奈 掛川市
小島 冬椰 袋井市	村松 未悠 袋井市	坂部 多恵 菊川市
中山 陽葉 袋井市	梅原 虎之助 浜松市	寺井 瑠吾 袋井市
太田 琉生 掛川市	山田 莉子 袋井市	山田 陽大 袋井市
小倉 冬麻 森町	藤原 未結 浜松市	前田 大智 掛川市
中嶋 航也 菊川市	鈴木 碧 静岡市	横山 芭留 掛川市
吉永 匠季 浜松市	鈴木 杏 静岡市	太田 陸斗 袋井市
八木 柊星 藤枝市	戸田 圭人 埼玉県	伊藤 幸佑 牧之原市



当社で命名奉告をされた皆様 ▶

お申し込み方法など詳しくは、小国神社 選名・命名奉告で検索

神社を知れば日本がわかる “まつりの国、日本”



イラスト 小国神社ものがたり
作 たたら なおき

●日本書紀●

『日本書紀』は天地開闢に始まる神代の伝承と初代・神武天皇から41代・持統天皇までの話が綴られた歴史書です。上撰されてから今年でちょうど1300年、日本最古の歴史書と呼ばれています。

本書の前半は神様のお話です。今も変わらずに日本国中の神社にお祀りされている八百万の神々の生き生きとしたお姿が描かれています。

近年では、21代雄略天皇の名前が刻まれた鉄剣が

埼玉県行田市の稲荷山古墳から出土し、年代も記述と合致するなど本書に記された歴史を裏付けるような考古学的な発見が数多くあります。

日本は、神代から現在まで一本の糸で繋がる世界でも類い希なる国柄です。

本年は様々な書籍や解説書が発行されるようです。是非、ご一読ください。



第17回最優秀賞 川田廣行 氏「落葉の宮川」

古代の森 小國神社

〔第18回〕写真コンテスト

〳小國神社で見つけた日本の美しさ〳を表現した〳こころ安らぐ〳素敵な作品を心よりお待ちしております

〳伝統文化〳〳美しい自然〳を切り取る

本年も好評をいただいております「古代の森小國神社写真コンテスト」を開催いたします。〳小國神社で見つけた日本の美しさ〳を表現した写真を募集しています。作品一枚からでも、年齢やお住まいを問わず誰でもご応募いただけるコンテストとなっております。

作品のご応募について

- 募集部門
 - 第一部門 境内に咲く草花・樹木などの自然
 - 第二部門 祭事・催物
 - 第三部門 野鳥
 - 応募期間
 - 令和二年六月一日～七月十日必着
 - ご応募のきまり
 - カラープリント 四切/ワイド四切(フチなし)
 - 撮影期間 令和元年七月上旬～令和二年六月下旬
 - 未発表作品に限ります
- ※詳細は当社WEBサイト、当社・県内写真各店配布の応募用紙をごらんください。

最優秀賞から入選まで各賞をご用意

- 受賞作として二十作品を選び、表彰と懸賞のお渡しをしています
- 最優秀賞 一名 賞金五万円 賞状 森町産お茶
 - 優秀賞 三名 賞金二万円 賞状 森町産お茶
 - 特別賞(宮司賞)一名 賞金三万円 賞状 神饌茶
 - 入選 十五名 賞状 副賞(二品)

心ゆくまで作品を堪能できる写真展へお越しください。ご応募いただいた作品の中から、受賞作品・展示作品、約五十点を選び、展示いたします。

写真展の開催予定

小國神社休憩所2階研修室
令和2年9月頃開催予定

写真展に寄せられた皆さまからのご感想



- 檜皮採取の作業風景は勉強になりました。良い写真です。(磐田市)
- 小國の森に美しい小鳥たちがいるとは知らなかったです。(袋井市)
- 毎年楽しみにしています。スバラシイ!! (掛川市)
- 本当にどれの作品にも賞をあげたい!!スゴいです。(森町)
- 心が洗われました。(牧ノ原市)
- 雨上がりの宮川が特に素敵でした。(浜松市)

詳しくはこちら [第十八回 小國神社 写真コンテスト](#)

[検索](#)

勸学祭・氏子入り奉告祭のご案内

新 たな季節、新しいスタートを
神さまと共に

本年の勸学祭は、四月四日(土)十一時より執り行います。氏子地域の小中学校へ入学する方でしたらどなたでも参列できます。ご神前にて学業成就、身体健全、交通安全をお祈りします。

氏子入り奉告祭は、氏子地域に、四月十九日(日)午前十時よりおこないます。令和元年(平成三十一年)一月一日から令和元年十二月三十一日までに出生されたお子様、嫁入り、婿入りされた方や移住された皆さまならどなたでも参列できます。ご神前にて家内安全、無病息災のお祈りをいたします。



四月十七日齋行 献詠祭和歌募集

明治天皇御製

御題 天

あせみどり

澄みわたりたる大空の

広きをおのが

心ともがな

口語訳

さわやかなあさみどり色に澄みわたった大空の

そのはてしない広さを、わが身の心としたいものである。

和歌は神代より続く日本の文化です

当社では例祭に先立ち、ご神前に奉納する和歌を募集しています。言葉に託された様々な思いに触れ、豊かな感性を育みましょう。

● 募集要項 ●

- 兼題 「令和」・「空」
- 用紙 短冊
(歌は楷書にてお書きください。裏面に住所・お名前を明記ください。)
- 締切り 4月10日(金)
- お申込宛先・問合せ先
〒437-0226
静岡県周智郡森町一宮3956-1
「小國神社祭儀課献詠係」
TEL (0538) 89-7302

◆ 辞令交付 ◆

鈴木 琴葉

小國神社巫女見習いに命ずる

(令和二年三月二十一日付)

渡邊つかさ

小國神社巫女見習いに命ずる

(令和二年三月二十一日付)

平出 薫子

小國神社巫女見習いに命ずる

(令和二年三月二十一日付)

今後ともご指導ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

編集後記



玉垂五十八号をお届けいたします。

この度の新型コロナウイルスのパンデミック(世界的大流行)により、ウイルスの大流行が人命、安全、経済への世界的な脅威となることを私たちは痛感いたしました。

それと同時に『調和』のとれた多国籍、国際的な対応が欠けていることが浮き彫りになりました。

この中国武漢発の疫病鎮静化は、地球規模の課題である以上、唯一の対処方法もまた地球規模の国際協調です。

先日、G7の首脳らがこの非常事態に際し、結束を表明しました。

奇しくも、私たちが生きる「令和」の御代は英訳において「Beautiful Harmony」(美しい調和)と表現されました。

先ずは、日本人が『美しい調和』の精神もって、この事態を克服してゆくことが大切であると存じます。



イラスト...
小國神社明神通り縁結び公式キャラクター
「ちち君」(左下)「ちち姫」(右上)